

(社) 日本原子力学会 標準委員会

第28回 原子燃料サイクル専門部会 (FTC) 議事録

1. 日時 2007年8月21日 (火) 15:00~16:40

2. 場所 (中) 原子力技術協会 A, B会議室

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

(出席委員) 田中 (部会長), 駒田 (副部会長), 藤原 (幹事), 阿部, 荒木, 坂下, 金木, 川上(博), 川上(泰), 倉崎, 佐久間, 高橋, 仲神, 新堀, 西村, 堀川, 前川, 森山 (18名)

(代理出席委員) 有江 (三塚代理) (1名)

(欠席委員) 有富, 井口, 内山, 小佐古, 長崎, 中島, 濱田, 深澤 (8名)

(欠席常時参加者) 飯村, 池澤, 宮川 (3名)

(事務局) 岡村

4. 配付資料

配布資料

FTC28-1 第27回原子燃料サイクル専門部会議事録 (案)

FTC28-2 標準委員会の活動概況

FTC28-3 人事について (専門部会)

FTC28-4 人事について (分科会)

FTC28-5 原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況報告

FTC28-6???? 標準の転載許諾の状況と制定・発行について (案)

FTC28-7 低レベル放射性廃棄体の放射能濃度評価方法の標準化について

FTC28-8 低レベル放射性廃棄体の製作・検査方法の標準化について

FTC28-9 低レベル放射性廃棄体の施設検査方法の標準化について 参考資料

FTC28-参考1 原子燃料サイクル専門部会 委員任期一覧

FTC28-参考2 標準委員会及び専門部会の今後のスケジュール(案)

5. 議事内容

(1) 出席者の確認

事務局より、27名の委員のうち、代理委員を含み19名の委員の出席があり、決議に必要な委員数（18名）を満足している旨の報告があった。

(2) 前回議事録の確認

前回議事録は、承認された。（FTC28-1）

(3) 標準委員会の活動概況

事務局より、FTC28-2に沿って、標準委員会の活動状況等が報告された。

(4) 分科会活動状況報告

事務局より、FTC27-5に沿って、各分科会の進捗状況等について報告された。

(5) 標準制定・発行と転載許諾の状況について

事務局より、FTC28-6に沿って、「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」と「放射性廃棄物の放射能濃度決定方法－原子力発電所から発生する低レベル放射性廃棄物の放射能濃度決定方法に関する基本手順－浅地中ピット処分廃棄物について－」，「使用済燃料中間貯蔵施設用金属カスクの安全設計及び検査基準」の3標準案に関する転載許諾の状況について報告された。

さらに、事務局より、「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」と「放射性廃棄物の放射能濃度決定方法－原子力発電所から発生する低レベル放射性廃棄物の放射能濃度決定方法に関する基本手順－浅地中ピット処分廃棄物について－」，「使用済燃料中間貯蔵施設用金属カスクの安全設計及び検査基準」の2標準については、転載許諾についての問題はなく、昨日終了した公衆審査においても意見が無かったことから、従来の手

続きと同様に、転載許諾の手続き終了をもって制定することを標準委員会に提案することについて説明し、了承された。

コメント

- 「返還廃棄物～」と「放射性廃棄物の～」の転載許諾の記載内容が入れ替わっているので修正すること

(6) 人事について

a. 幹事の指名

前回指名を見合わせた幹事については、田中部会長と駒田副部会長により、藤原委員が再指名された。

b. 専門部会人事

事務局より、FTC28-3に沿って、三塚委員、佐久間委員より退任届けが出されている旨、報告された。

また、事務局より、坂下委員より有江和夫氏（（株）東芝）、杉山一弥氏（（中）原子力技術協会）の委員推薦届が提出されていること、9月末で任期満了となる仲神委員については、再任の意向を示されている旨の説明があり、挙手による採決の結果、選任が承認された。

c. 分科会人事

事務局より、FTC28-4に沿って、余裕深度処分安全評価分科会において、小野誠委員（（独）原子力安全基盤機構）並びに浦上学委員（関西電力（株））が新たに選任されるとともに、任期満了に伴う主査の互選により、川上（泰）主査が再選任された旨報告があり、挙手による採決の結果、承認された。

(7) 低レベル放射性廃棄体の放射能濃度評価方法の標準化について

FTC28-7に沿って、低レベル放射性廃棄体の放射能濃度評価方法の標準化の進め方につ

いて、標準化の範囲、スケジュール、委員候補等についての説明があり、既存の「廃棄体放射能評価分科会」の名称を「低レベル放射性廃棄体放射能評価分科会」に変更するとともに、標準化の対象範囲を低レベル放射性廃棄体全体の放射能評価に拡大することが提案された。審議の結果、分科会の名称変更、対象範囲の拡大等について承認された。

また、事務局より、準備が整い次第、委員の選任と承認を電子メール決議にて実施する旨、説明があった。

主な質疑応答：

- 昨日公衆審査が終了した「放射性廃棄物の放射能濃度決定方法」と、新たに制定する標準はどのような関係になるのか。

→ 将来的には、L 2 の濃度評価の中に取り込みたいと考えている。

- 最終的には、L 1 と、L 2 及びL 3 の2冊の標準が出来ることになるのか。

→ 分科会での審議を通じて決めていきたい。

- 低レベル放射性廃棄物全体がこれで包含されるのか。

→ 今回の範囲は発電所で発生するもののみ。ウラン廃棄物やTRU等は技術的蓄積が少なく、今後の課題と考えている。

- P.2の2.項中に「放射能評価シナリオの構築」とあるが、「放射能評価手法の構築」ではないか。

→ 「シナリオ」と言うのはおかしいので、「手法」に修正したい。

- 理論計算等のバックアップデータをどこまで出せるかが重要。

- 「各対象廃棄物の放射能濃度評価への要求条件の検討」に評価精度とあるが、必要

な精度等は、実際に評価をしてみてその結果を踏まえて再検討すべきであり、最初から決め打ちにならないよう注意する必要がある。

(8) 低レベル放射性廃棄体の製作・検査方法の標準化について

FTC28-8に沿って、低レベル放射性廃棄体の製作・検査方法の標準化の進め方について、標準化の範囲、スケジュール、委員候補等についての説明があり、既存の「余裕深度処分対象廃棄体分科会」の名称を「低レベル放射性廃棄体製作・検査方法分科会」に変更するとともに、標準化の対象範囲を低レベル放射性廃棄体全体に拡大することが提案された。審議の結果、分科会の名称変更、対象範囲の拡大等について承認された。また、事務局より、準備が整い次第、委員の選任と承認を電子メール決議にて実施する旨、説明があった。主な質疑応答：

- L3の廃棄体という概念が不明確。L3では、L1／L2と異なり、廃棄体という概念はない。L3の廃棄物を袋に入れるのは技術基準対応ではなく、事業者側の事情。
→ 規制側の要求から最低限何をしなければいけないか、というようなことを標準としてまとめていけばよい。
- 大型廃棄体は切り刻まずに一体で廃棄するようなことも考えるのか。
→ 技術的知見、ニーズが現時点ではないので、それが出てきた時点で、標準を改訂する方向と考えている。
- 「放射能評価」と「廃棄体製作」はいずれも2009年度の標準制定を目指しながら工程に半年のずれがあるのは何故か。

→ 廃棄体製作についてはある程度検討が進んでいるが、放射能評価はそれほど検討が進んでいない上、評価の難しさもあるため。

- P.2 (の3.(2)項) に、「技術基準が求める要求性能の具体化」という記載があるが、技術基準の中身を勝手に解釈されても困るので、具体化する段階で国と相談するようにしてほしい。FTC28-7, FTC28-9も同様。
- 分科会名称が変わるが、以前に制定した標準のフォローはするのか。

→ 当然するものと考えている。

(9) 低レベル放射性廃棄体の施設検査方法の標準化について

FTC28-9に沿って、低レベル放射性廃棄体の施設検査方法の標準化の進め方について、標準化の範囲、スケジュール、委員候補等についての説明があり、新たに「低レベル放射性廃棄物処分の施設検査方法分科会」を設置することが提案された。審議の結果、新たな分科会の設置等について承認された。

また、事務局より、準備が整い次第、委員の選任と承認を電子メール決議にて実施する旨、説明があった。主な質疑応答：

- L 1 から L 3 まで全てを対象とするのか。
→ L 3 は施設といえるのかどうか、分科会で議論したい。
- 法令では施設確認を要求しているが、名称が検査となっているのは事業者の検査という意味合いか。
→ 事業者が行う検査の意味である。
- 資料のタイトルが「低レベル放射性廃棄体の施設検査方法の標準化について (案)」となっているが、廃棄体ではなく処分施設ではないのか。

→ 「廃棄体」ではなく「処分施設」の誤り。

- 最近新設済みの分科会に「LLW埋設後管理標準分科会」がある。本分科会の名称は「処分施設」ではなく、「埋設施設」のいずれがよいのか。埋設に合わす必要はないか。

→ 資料タイトルおよび分科会の名称は、関係者と相談の上、修正することにした。

- P.4の委員候補のリストで、J N E Sの種別が「学術研究機関」になっているが、「関係官庁等」に要修正。
- 今回配布したFTC28-7～9の資料については、用語や分科会名称等検討し、修正版を全委員に配布すること。

6. 今後の予定

次回専門部会開催日程については、11月27日（火）13:30～実施する予定。

以上